

## 「こころの温度を上げる」！

学校が再開し、子どもたちの元気な声が学校中に響いています。毎朝1年生は、育てているアサガオの水やりやそこで繰り広げられる様々な交流を通して、1日の生活のリズムをつくっています。準備が早めに整った子どもたちは、マラソンにも取り組みはじめ、活動の場を自分から広げはじめました。子どもたちが、元気に校庭で遊ぶ姿を見ますと、外出自粛の影響で心配された体力もだいじょうぶそうで安心しています。

先日、福島を拠点に活躍しているパイロット室屋義秀さんのフライトがありました。四小の上空に描かれたスマイルマークに子どもたちは大興奮でした。フライトの予告情報を知らせてくれた2年生の子どもたちは、ポンポンや「むろやさんだいすき、ガンバルヨ！」と書いた垂れ幕を用意していました。子どもたちの願いやよろこびが大空に確かに届いていました。

「こころの温度を上げる」。教師と子どもたちが学び合う関係をつくる上で心温まる体験が大切と言われています。室屋さんのフライトによるプレゼントもまさに心の温度を上げる素敵な取り組みでしたが、四小の先生方も負けてはいません。この臨時休業の期間中も含め、様々な工夫がありました。(次回紹介します。)

スマイルと青空を見上げる子どもたち



## 「教員の働き方改革」宣言2020の取り組み

教員が健康で明るく子どもと向き合える魅力ある学校をつくるために、昨年末にこの宣言が出されました。本校でも下記の取り組みを進めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 1 児童の一斉下校日を増やします。また週1回教職員の一斉退勤日を設定します。

本校では、今年度水曜日は、14:00に一斉下校します。また、教職員は、水曜日に管理職を含め18:30に退勤し学校を施錠いたします。

### 2 部活動(特設クラブ等)の課外活動について休養日を設定します。(平日1日、土日のいずれか1日)

本校は該当しません。

### 3 学校行事等の削減や簡素化に努めます。

働き方改革のためには、教員の仕事を減らすことが重要です。本校では昨年度より教員のプール管理の仕事を減らすために水泳指導を7月末で終了することに取り組んできました。また、今年は準備や事後処理に思いの外手間のかかるマラソン記録会を廃止して、持久力を正確に測定できるスポーツテストの「シャトルラン」を参観していただくようにします。(これは、狭い校庭での長距離走により起こってしまうカウント間違いや判定間違いを防止するねらいもあります。)

さらに、2学期の通知表については、今年度より各教科の評定を含めて、個別懇談に替えさせていただきます。学びの充実期である2学期を大切にしたいと考え、12月の終業式までテスト期間を設けることなく授業をしっかりと行い、思考力・判断力・表現力を鍛えます。3学期は、単元テストや学力検査等を実施して1年間のまとめの期間とし、補充・発展的な学習に取り組ませて学力の確かな定着を図ります。

